

# お知らせ

記者発表資料 平成18年5月1日

提 供 先

島根県県政記者クラブ ・ 出雲市政記者クラブ ・ 米子市政記者クラブ

## 2006 『斐伊川放水路1000年の森づくり』植樹祭の開催について

今回で8回目を迎える『斐伊川放水路1000年の森づくり』植樹祭は、「2005“秋”」の植樹祭同様、未来の緑豊かな「出雲の国」を築くため、地域の方々の力をお借りして開催いたします。この植樹祭は、斐伊川放水路事業を地域の方々に、より身近に感じていただくとともに、自然環境の大切さについて考えることのできる良い機会であると考えて開催するものです。

と き : 平成18年6月5日(月) 10:00 ~ 12:00

と ころ : 出雲市上塩冶町地内 (斐伊川放水路残土処理場のり面)

主 催 者 : 国土交通省出雲河川事務所・島根県・出雲市

国土交通省 出雲河川事務所

担 当 : 事務副所長 安井 富士夫  
総務課長 五百川 和徳

TEL : 0853-21-1850

FAX : 0853-22-7829



# お知らせ

**2006 「斐伊川放水路1000年の森づくり」 植樹祭**  
 ~ 神話の国 “出雲” から世界へ ~



斐伊川放水路事業では、地域のみなさまのご協力を得て豊かな里山の復元・回復を目指し、植樹祭を開催いたします。  
 “神話の国 出雲”の自然豊かな里山を次の世代へ引き継ぐために、この植樹活動にあなたも参加してみませんか？

## 1. 植樹活動の背景

国土交通省出雲河川事務所では鳥根県東部地域の住民を洪水被害から守り、安全で安心できる社会基盤の構築を目指し、斐伊川・神戸川水系を一体的に整備する治水事業を実施しています。

斐伊川・神戸川の治水対策は、両川の上流にダムを建設し、中流部に放水路を建設し、下流部の大橋川を改修する(この3つの事業を『3点セット』と呼んでいます。)ことで、両流域を洪水から守る計画となっています。

この『3点セット』の一つとして、出雲市で行われている『斐伊川放水路事業』は、全国の河川改修事業の中でも屈指の大規模な事業であり、斐伊川の洪水の一部を神戸川に分流し、宍道湖沿岸をはじめとする下流域を洪水から守るとともに、現在の神戸川の川幅を拡げることにより、神戸川自体の治水安全度も大きく向上させるものです。

この『斐伊川放水路事業』のため、丘陵部を切り開き新たな河川を建設する区間は、これまで豊かな里山が存在しました。しかし、放水路の工事により掘削され、里山に山肌があらわになった人工的なり面が発生することから、自然環境への配慮が必要となりました。

このため、当事務所では山肌があらわになったのり面を早期に豊かな森へと復元・回復することが重要であると考え、鳥根県及び出雲市の協力のもと、平成12年度から出雲市内の小・中学生にも参加していただき、豊かな里山を復元・回復させる取り組みとして、『斐伊川放水路1000年の森づくり』と称して、毎年植樹祭を開催しています。この植樹祭では、これまで約5万3千本の木々を植えてきており、今回で8回目を迎えます。

この植樹祭では、横浜国立大学 名誉教授 宮脇 昭博士により提唱された、土地本来の樹種(潜在自然植生種)を植樹することにより、短期間で在来の出雲の自然に融和した森林が形成されることを目指しています。

また、『斐伊川放水路事業』は平成20年代前半の完成を目指して工事を進めていますが、出来るだけ早い段階から植樹を行うことにより、事業の完成時には出雲の自然にとけ込んだ森林が形成されることを期待しています。

今年も、新緑の映える6月に、出雲市内の小学生の皆さんと、昨年10月の“2005 秋”の植樹祭同様、未来の緑豊かな「出雲の国」を築くために地域の方々の力を広くお借りして植樹祭を実施します。

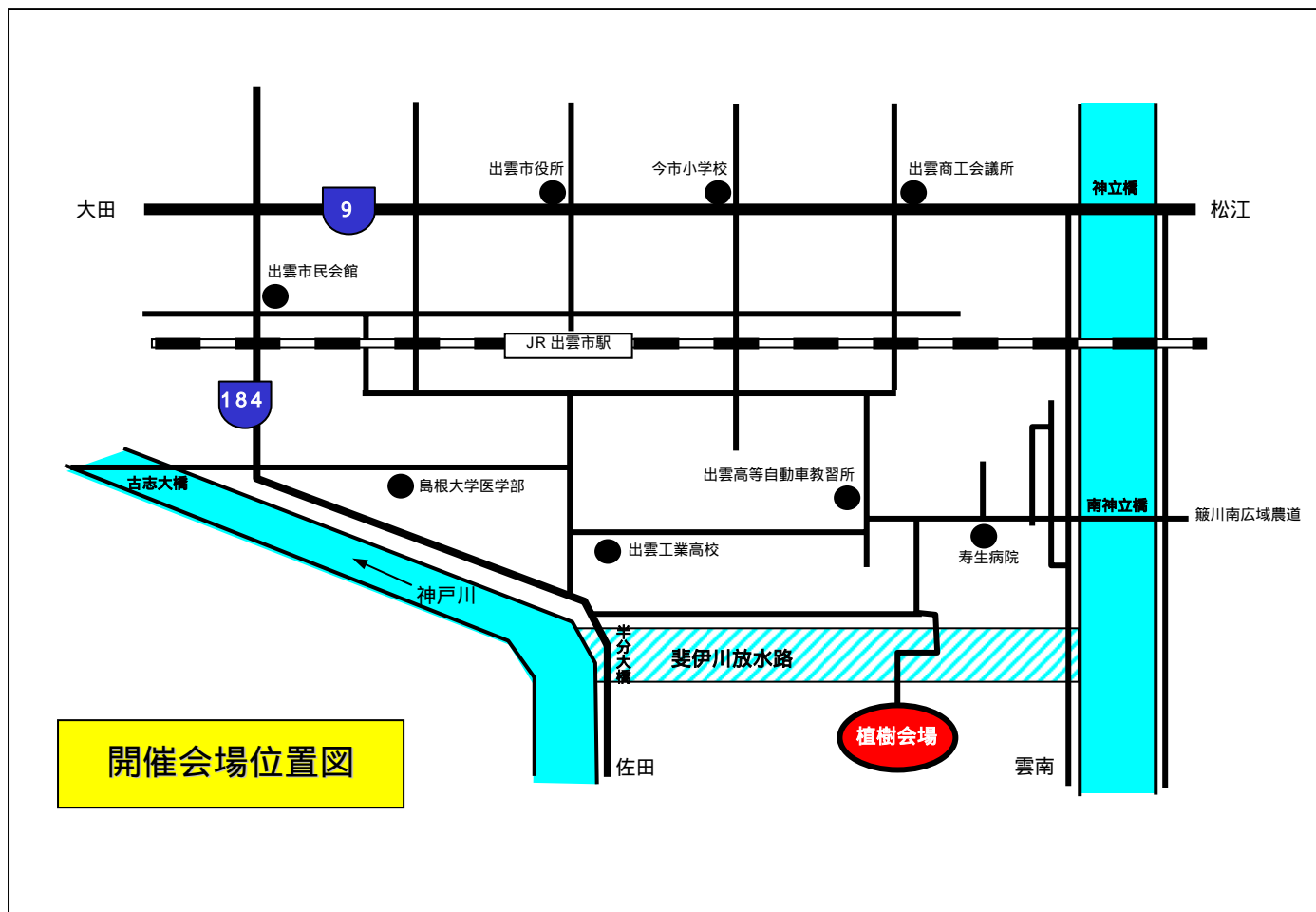
この植樹祭は、斐伊川放水路事業を地域の方々に、より身近に感じていただくとともに、自然環境の大切さについて考えることのできる良い機会であると考えて開催するものです。



## 2. 植樹祭開催日・開催場所

と き : 平成18年6月5日(月) 10:00 ~ 12:00

と ころ : 出雲市上塩冶町地内 (斐伊川放水路残土処理場のり面)



## 3. 植栽樹種(予定)

タブノキ、アラカシ、スダジイ等 16種(予定)

本数 : 未定(参加者数により決定)

面積 : 未定(参加者数により決定)

## 4. 問い合わせ先

国土交通省 出雲河川事務所 担当 : 事務副所長 安井 富士夫

総務課長 五百川 和徳

TEL : 0853-21-1850 FAX : 0853-22-7829

『2005 斐伊川放水路 1000年の森づくり』植樹祭実施状況《平成17年6月7日(火)》

参加者数：約230名（出雲市立塩冶小学校4年生等）

植樹本数：約400本（植樹面積：約200m<sup>2</sup>）







昨年の2005“秋”の植樹祭に引き続き、地域のみなさまの参加による豊かな里山の復元・回復を目指した、植樹祭を開催いたします。

“神話の国 出雲”の自然豊かな里山を次の世代へ引き継ぐために、この植樹活動にあなたも参加してみませんか？

【植樹活動の背景】

国土交通省出雲河川事務所では島根県東部地域の住民を洪水被害から守り、安全で安心できる社会基盤の構築を目指し、斐伊川・神戸川水系を一体的に整備する治水事業を実施しています。

この斐伊川・神戸川の治水対策の柱の一つである『斐伊川放水路事業』は、全国の河川改修事業の中でも屈指の大規模な事業で、斐伊川の洪水の一部を現在の丘陵部を切り開き、新たな河川を建設し神戸川に分流し、宍道湖沿岸をはじめとする下流域を洪水から守るとともに、現在の神戸川の川幅を拡げることにより、神戸川自体の治水安全度も大きく向上させるものです。

この『斐伊川放水路事業』のため、丘陵部を切り開き新たな河川を建設する区間は、これまで豊かな里山が存在しました。しかし、放水路の工事により掘削され、里山に山肌があらわになった人工的なり面が発生することから、自然環境への配慮が必要となりました。

このため、当事務所では新たに発生した山肌を早期に豊かな森へと復元・回復することが重要であると考え、島根県及び出雲市の協力のもと、平成12年度から出雲市内の小・中学生を中心に、豊かな里山を復元・回復させる取り組みとして、「斐伊川放水路1000年の森づくり」と称して毎年植樹祭を開催しており、今回で8回目を迎えます。

【募集要領】

参加ご希望の方は、下記の要領でお申し込み下さい。みなさまのご応募をお待ちしております。

《植樹会場は足下が悪いため、運動靴または長靴でご来場下さい。》

『神話の国 出雲』で次世代の人々へ送る“木”を植えてみませんか？

～ 2006 植樹祭開催決定！参加者を募集しています。～

開催日 6月5日(月)10時00分～12時00分

開催会場 出雲市上塩冶町地内(斐伊川放水路事業残土処理場のり面)

特別講師

横浜国立大学

名誉教授 宮脇 昭氏

《みなさまのご応募をお待ちしております。》

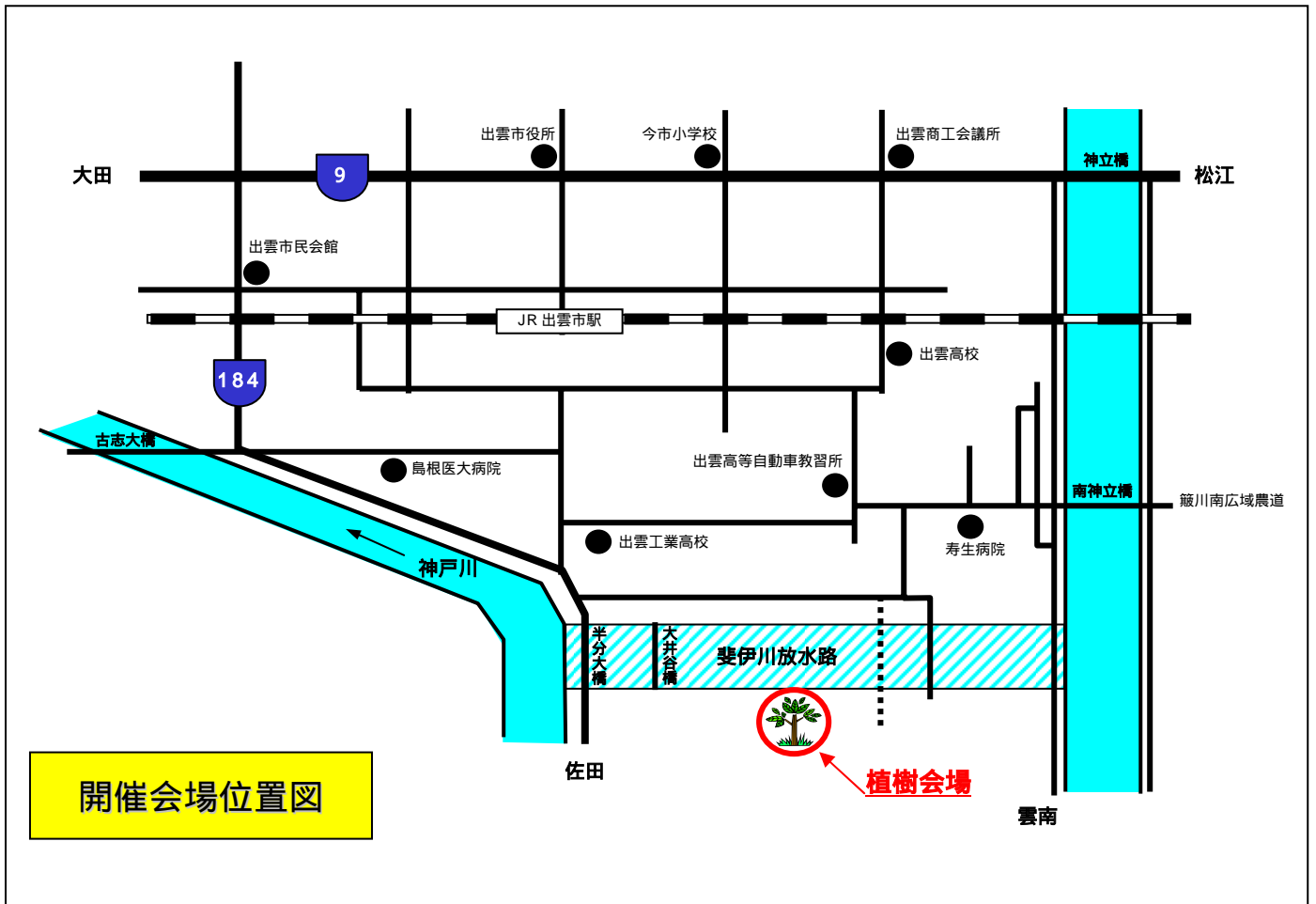
応募方法/個人で参加をご希望の方は、住所、氏名、電話番号、団体等複数で参加をご希望の場合は、代表者の住所、氏名、電話番号、参加希望人数を明記の上、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかで、下記までご応募ください。

応募締切/平成18年5月26日(金)必着(締切後の参加希望は下記問い合わせ先までご連絡下さい。)

応募先/〒693-0023 島根県出雲市塩冶有原町5丁目1番地 国土交通省 出雲河川事務所 総務課宛  
TEL:0853-21-1850 FAX:0853-22-7829 Eメール:izumo@cgr.mlit.go.jp

主催者/国土交通省出雲河川事務所、島根県、出雲市

参加申込書は、国土交通省出雲河川事務所ホームページ <http://izumokasen-mlit.go.jp/>でもダウンロードできます。



開催会場周辺には、駐車場所が確保されていますので自家用車等でのご来場も可能です。

会場周辺では交通誘導員の指示に従い通行・駐車をお願いいたします。

また、開催会場がわかりにくい場合には、事前に下記へお問い合わせください。

国土交通省 出雲河川事務所 総務課 TEL : 0853-21-1850 FAX : 0853-22-7829

----- きりとりせん -----

## 『2006 斐伊川放水路 1000 年の森づくり』植樹祭

### 参加申込書

団体名			
代表者氏名			
代表者住所	県	市・町	丁目 番地
代表者連絡先	-	-	
参加希望人数	人(申込者含む)		